

光のどけき春の日に。

# 『大塚・相楽ふるさと博物館』 訪れてみませ

身近にあっても、意外に知らない文化財や遺跡。毎日通る道路のすみっこに、小さな歴史が隠れていたりすることがあります。

今度、大塚学区の多くの人たちのご尽力でガイドマップ「大塚・相楽ふるさと博物館」ができあがりました。

このマップができあがった経過や内容等を皆さんにご紹介したいと思います。

## ガイドマップ(蒲郡ミニ博物館ガイド)

### 『大塚・相楽ふるさと博物館』

とは…

ミニ博物館構想を実現するためにモデル地区に指定された大塚学区は、平成7年10月に「大塚学区ミニ博物館推進委員会」を組織して、ふるさと大塚をもう一度見直すことから開始しました。

例えば、学区内のことに詳しい人たちが講師になる講座「ふるさと再発見」や「大塚の歴史」講座の開設、学区住民へのアンケート調査、先進都市の視察のほか、文献調査、現地調査などが何回も行われました。推進委員会の人たちは、全員ボランティアでとりくんでいただき、貴重な学習資源のある土地の所有者やお寺などをはじめ、学区の皆さんの多大な支援をいただきました。

その結果、160点を超えるさまざまな学習資源をリストアップ。この中から、さらに66点が厳選され、ガイドマップ「大塚・相楽ふるさと博物館」が完成しました。このガイドマップは、利用される人のために、表面(マップ)には66点の学習資源が自然、歴史、寺社、仏像、産業・施設などテーマ別に分けられたコース案内が、裏面は、地区ごとにテーマ別に個々の資源についての解説がついています。

## ミニ博物館構想とは…

平成6年度に蒲郡市が「いつでも・だれでも・どこでも・なんでも」学ぶことができる生涯学習のまちづくりを目指し、多数の市民の皆さんを対象にアンケート調査を行いました。

その結果にもとづいて策定した「がまごおり・ゆたかな海と緑の学園都市構想」に掲げられているプロジェクトの1つです。

ミニ博物館といっても、建物としての小さな博物館を意味するものではありません。

身近にあっても、意外に知られていない史跡や遺跡、美術品・彫刻・建築物・玩具・民具のほか、昔話・古典芸能等の有形無形の文化財、さらに産業や技術、自然など、後世まで残す意義のあるものすべてを学習資源として選定・紹介し、「蒲郡のまちそのものが、ごっそり丸ごと博物館になる」というプランです。

#### 石佐平翁の鎧徳碑

石佐平翁は高木2年(1849)に塚で生まれ、大正12年(1923)、薨で死去した。  
：頭は山岡政府に譲り、塚郷、アサリの養殖、塩田作り、道路備、新美半島の越戸大山灯台など、その業績を記して地蔵に刻した。その業績をたたえた鎧徳碑、新美神社境内に建てられている。

#### 七門常夜燈

善明神社の境内にあり平政街路に建てられた常夜燈で、「林山 村中安全、文化壬申九月十日(1812)の銘がある。

#### 500年の歴史を誓う 長興寺

室町時代の末期、大塚は畿西と赤松の藩地に苦しんだ。住居大塚前門は窮状を訴えるため、わさ100足をもって江戸へ行き懇願。死を覚悟した大塚左衛門の意が幕府を動かし、180石の減となった。大塚左衛門が、お札に神様に行儀を寄進したといわれている。

#### 家康のかくれナギ

川田家康がこの地方の戦いで敗



本意記石門天立像 (古典美術)

#### 大塚駅と海水浴場

遠浅で水のきれいな大塚海岸は、戦前から海水浴場、灘子野り場として賑わった。海水浴客のため、昭和28年(1953)に手塚駅として三河大塚駅が開かれ、昭和34年(1959)には、常設駅へ昇格し今日に至っている。駅の開設には地元民の物心両面の支援が大きな力となった。なお、海岸は開港により変質しつつある。

#### 阿弥陀さままつる 光明寺

大塚山光明寺は、浄土宗深草派で本尊の阿彌陀如来を擁する市指定文化財である。開山は鎌倉末山上大で、本堂は天文年間(1552-1555)に創建された。第17世浅野大念和尙(明治21年から在任16年)は善法、除虫菊や唐辛子の栽培等を奨励し、青年の勉学育成、村民の指導に貢献した。

#### 村のスターも出現し 紫雲神社

社史によると弘明創建であるが、戦し、天文10年(1543)に御式部少輔が建てた。祭神は山号額は山よる。一石が盛屋は今

#### 大塚小学校

小学校の運動場



本意記石門天立像 (古典美術)